

第71回北海道地区大会 岩見沢大会 主管実行委員長は、この男、選出



第七十一回北海道地区大会 岩見沢大会の実行委員長が定時総会にて嵯峨理事長予定者から指名され、承認された。今回承認されたのは、今年の北海道地区協議会に向し、事務局長を務める中西良貴君だ。

岩見沢での地区大会開催は十九年ぶりとなる。

『多くのメンバーにとって初めての経験となる地区大会。正直自分も少し怖い。わからないことがわからない状況でもある。』

そんな中でも、今回開催する地区大会で、岩見沢に大きなインパクトを残すため、岩見沢青年会議所ここにありという事を、岩見沢市民のみならず北海道の青年会議所メンバーに発信できるように、大会の内容・大枠を構築していきたい。

岩見沢のメンバーのみならず、地区大会の運営メンバーの皆さんと一丸となって、大会を作っていくたい。と熱い想いを語ってくれた。

中西良貴君!

創立65周年 一般社団法人 岩見沢青年会議所 記念式典



近年、事業規模も大きくなり、市民から注目していただける機会が増えてきた。それは、65年間にわたり絶え間ない活動を『現在』まで繋いできて先輩諸氏のおかげである。さらには、その活動に対し、地域の皆様と関係諸団体の方々のご理解とご協力があったからこそだと、川森実行委員長は言う。

さらに『社会情勢は、目まぐるしく変化。この変化に柔軟に、さらにより早く対応しなければならぬ。』

慣例や前例にとらわれず『過去』から学んだ想いや、青年だからこそその発想やチャレンジ精神で『明るい豊かな社会の実現』に向け邁進することが必要だ。』と熱く語った。

65周年記念式典の動きからも、目が離せない。

一般社団法人 岩見沢青年会議所 65周年記念式典 & 北海道地区大会

あとながき

今回が二回目となったJC新聞。前回からおおよそ半年ぶりの発行となったが、この半年間で多くの出来事があった。新型コロナウイルスのワクチン接種がはじまり、3度目の緊急事態宣言が発出、オリンピックが始まった。

あらゆることが、制限されてきた。そんな中でも『できること』『新しいこと』をただひたすら模索してきた半年間だった。

思考を放棄することは簡単だ。制限の多い時世だが、アイデアに限りはない。

私もいつか、踏み出すべき一歩を踏み出せるだろうか。

(高島 彬)